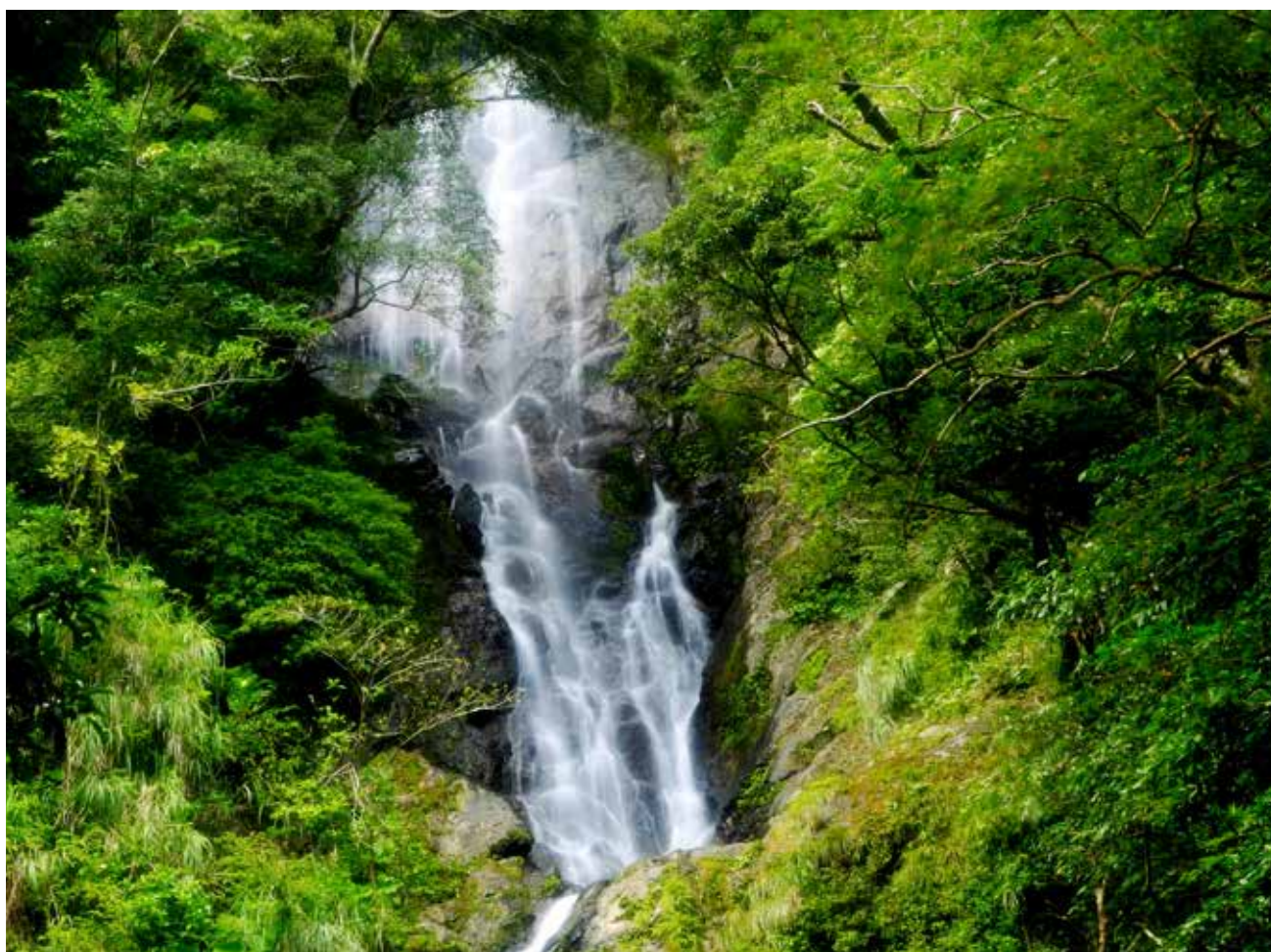




あまみ 市議会だより

No.59
2020.12



住用 フナンギョの滝



奄美市公式キャラクター
コトくん

第3回定例会

令和2年9月7日～9月28日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号
TEL：(0997) 52-1111
FAX：(0997) 52-2815
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・2P～6P

第3回定例会常任委員会の審査概要・・・7P

第3回定例会の主な議案・・・8P～9P

議会の活動／傍聴者の声・・・10P～11P

あとがき・・・12P

1
日目



1 崎田 信正
2 川口 幸義
3 奥 晃郎
4 栄 ヤスエ

2
日目



1 関 誠之
2 正野 卓矢
3 安田 壮平
4 荒田 幸司

3
日目



1 大迫 勝史
2 奥 輝人
3 永田 清裕
4 橋口 耕太郎

市政を問う



9月8日から10日の3日間で12名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※左記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

議会録画配信

※質問順に掲載

戸玉集落周辺の採石場に関連して



崎田 信正
(日本共産党)

問 6月28日戸玉集落住民が撮影した放水は赤土汚染水ではないか、確認できているか

答 本市でも現地確認を行い、河川に赤土流出が確認されたので、事業所を訪れ、赤土流出防止対策について、口頭で指導を行った。許可権者である県(大島支庁)も口頭で指導を行っている。河川及び港湾管理者として環境への悪影響を及ぼすことから、定期的にパトリールを行う。

問 戸玉集落は、採石法により、住民の暮らしが守られていると認識しているのか

答 採石法において「他人に危害を及ぼし、公共の福祉に反すると認めるときは、許可をしてはならない」となっており、県知事は事業者に対して災害防止のための必要な措置

置や岩石採取の停止を命ずることができ、適正な措置を行うことで、守ることができると考えている。しかし、戸玉集落から請願書が提出されており、住民の皆様にとつての現状は、十分に納得できるものではないということの証で、深く受け止めている。

【その他の質問】

○新型コロナウイルスの影響と対策について

・介護保険料、国保税、後期高齢者医療保険料及び国民年金保険料の取扱いについて

・介護事業所への影響について

○国保の傷病手当金の創設について



金子川を汚染する赤水濁流

市長の政治姿勢について



川口 幸義
(自由民主党)

問 コロナウイルス感染症について

答 4月17日に新型コロナウイルスの陽性者が確認されて以降、本市において新たな感染者は確認されていない。住民・事業者の皆様一人ひとりが感染防止対策に取り組んでいただいた結果だと深く感謝申し上げます。また、医療従事者の皆様をはじめ、福祉や運輸など、私たちの生活を支え続けている事業者の皆様にも、改めて深く感謝申し上げます。

問 災害時を含めたりモトでの対応の必要性について

答 災害時、避難所での食料、資機材の不足、避難者の体調管理また、新型コロナウイルス感染症の発生など、即時対応するため、災害対策本部をはじめ各関係機関との情報共有は、必要不可欠である。

問 避難所を含めて感染を示唆する知識とトリアージ方法の共通認識は

答 感染者の対応(トリアージ)については、国や県からのガイドラインを参考に、まず受付時点で37.5度以上の発熱がないか検温を実施し、息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状、2週間以内に島外からの旅行者・訪問者との接触、2週間以内に島外への渡航の聞き取り調査を実施する。

【その他の質問】

○観光客への対応について
○営業店における合格マークについて



自治会・集落における現状と課題について



奥 晃郎
(無所属)

問 自治会・集落の現状と活性化に向けての取組は

答 奄美市の自治会及び集落会などの団体数は令和2年8月末現在109の団体があり、65歳以上の住民が半数を超える集落数は12集落(名瀬地区:3集落、住用地区:2集落、笠利地区:7集落)であるが、集落行事や日常生活などの社会的共同生活は行われており、限界集落の概念に該当する集落はないものと考えている。地域活性化の事業としては、「紡ぎきょう」のシマづくり事業がある。事業内容は、地域活性化に向けて、伝統文化や特産品などの集落の宝を活用し、集落の皆さんが協力して取り組む活動のソフト面及び、その集落の活動拠点となる施設等のハード整備に対して支援するものその他「集落二

ランド事業」がある。現在21の集落において伝統文化や自然景観など22のブランドが認定されており、集落の宝を活用し、集落及び奄美市の認知度を向上させることで郷里に誇りと自信を持ち、交流人口拡大を推進し、地域活性化を目指している。今後とも共生協働のまちづくりを引き続き支援していきたい。



笠利 打田原集落
天然の塩づくり体験

【その他の質問】

○防犯灯について

○電柱の無電柱化導入について

○市営住宅について

○スポーツ施設の高齢者に対する利用補助について

○陸上自衛隊が駐屯した事による税收の効果について

行政のデジタル化・ユニバーサルツーリズムについて



栄 ヤスエ
(公明党)

問 男女共同参画の観点からの防災対策について

答 避難施設の運営においても女性の視点を活かしたきめ細かい対策、地域の防災力強化に繋げる。

問 行政のデジタル化について

答 行政手続きについては今後は政府による制度設計を注視し、住民の利便性向上、行政事務の効率化と感染症の拡大防止の観点から更なる行政手続きのデジタル化に努める。

問 地域情報化計画について

答 4つの目標を掲げ、フリーランス育成目標数200名の目標に対し、実績202名。本市へ移住した方50名に対し、実績は移住家族も含め24名。

問 ユニバーサルツーリズム観光について

答 高齢者・障がい者の個々の状況により対応手段は様々。奄美大島5市町村で構成する奄美地区地域自立支援協議会の協力を頂き、観光施設、飲食店、宿泊施設などの受け入れ態勢に努め、安心安全な旅行先としてご来島頂くための観光地づくりに取り組む。

問 特別定額給付金基準日後に生れた子どもも10万円給付対象にできないか

答 臨時交付金の有効活用も視野にいれ検討している。

【その他の質問】

○マイナンバーカードの普及状況、活用法について



財政状況と今後の財政運営について



関 誠之
(社会民主党)

問 「しおた康」新鹿児島県知事の政治理念・マニフェストについて、市長の見解

答 個別の施策については控えるが、新知事の在任中の令和5年度には「奄振法」の期限を迎えるので、より一層、県知事としてのリーダーシップを発揮することを期待している。

問 知事との対話の場を最初に要望しては

答 具体的な対話の手法や時期等、現時点では詳細が示されていないので、状況なども確認し対応を検討する。

問 奄美市の財政状況と今後の財政運営について、どのような財政指標に注目するのか

答 財政調整基金に注目している。令和元年度末の残高は、34億3461万9千円(前年度末比5億508万6千円の減)。

月補正までに、9億500万1千円の繰り入れを行い、現在高は27億6241万3千円である。予算規模の約1割の30億円程度を確保したい。今後は、経常収支比率・公債費・実質公債費率・将来負担比率などの指標に注視し、単年度起債の枠36億円を順守していく。

【その他の質問】

○奄美新聞8月20日付け寄稿「拝啓教育長様」についての見解

・主体的検証とウェブサイトの公表

・第3者委員会委員長との面談を拒否する理由等
○豪雨の教訓はどのように活かされているか

○働き方改革担当官の配置した目的と現況について



避難所の環境と 多世代型の交流について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美)

問 避難所運営説明会について

答 避難者への声掛けや、きめ細やかな対応に心掛け、危機意識の高さを再確認した。

問 避難所の環境について

答 環境の整っていない施設は計画的に改修に努め避難所機能の充実を図っていききたい。

問 集会所等での取り組みについて

答 地域の拠点として、課題の解決など自治会が主体的に活用し交流が図れている。



問 多世代型の交流と環境整備について

答 笠利・住用・旧三方地区は様々な伝統行事があり、組織的に役目を果たして行事を進めている。集会所の環境整備は、各種支援メニューがあるのでそれを活用していただきたい。

問 三蔵山50mプールの現状について

答 配管から水漏れをしており、管理棟の老朽化により利用禁止の判定を受けているので、施設を開放する事は出来ない。

問 50mプールの持つ可能性について

答 50mプール使用により競技力向上が見込まれ、合宿に来た選手達と練習出来る事により子供達が水泳技術を身に付ける事が出来る。

問 非常用自家発電設備の導入について

答 コミュニティFMディは、災害時に重要な情報伝達手段であるため支援の可能性について検討したい。

新型コロナ禍の新常態に 立ち向かうために！



安田 壮平
(チャレンジ奄美)

問 農林水産物等輸送コスト支援事業で食品加工業の原材料輸送に支援しては

答 県において予算枠の上限が示されており、まずは既存の支援メニューの

安定的運用に努めながら、業界団体と連携を密にし、国・県・群島各町村と調整して可能性を探りたい。

問 航空・航路運賃軽減事業の不用額をどうするか

答 コロナ禍で早めの予算の事業間調整が必要となるため、国・県・広域事務組合等と連携を図る。

問 島内・群島内で中小学校の修学旅行を催行・誘致する支援をしてほしい

答 奄美満喫ツアー助成事業のついでに「学校研修旅行誘致助成事業」があり、これまでは群島外の学校が対象のため、事務局や大島5市町村で検討する。

問 コロナ禍での副業支援の取組は

答 求人を出している企業へ連絡し副業受入の有無を確認して受入可能事業所一覧を作成、18社掲載している。製造業3件、宿泊業2件、サービス業1件、自動車販売・整備業1件の受入があった。

問 市による副業支援の仕事マッチングができないか

答 大島全域での「奄美大島雇用創造協議会」が厚生労働省受託事業者に選ばれた。就職促進のセミナーや合同面接会とともに検討したい。

【その他の質問】

○再発防止対策検討委員会について



安全保障及び コロナ対策等について



荒田 幸司
(日本共産党)

問 「核兵器禁止条約」奄美市の受け止めは

答 政府は、安全保障の観点から理由に条約の採択には不参加を表明。外交や安全保障に関わる事項は、国の専権事項と認識しており、政府の見解については本市としての発言は控える。

問 事業所支援給付金の支給実績と分析は

答 8月27日現在、支給決定は1822件、5353万6千円で予算執行率は14.27%となっている。こうした状況を踏まえ、本給付金の対象月を本年12月まで延長することとした。

問 コロナ禍における学校の授業形態は

答 各学校の実態に即して、登校時の体温測定や3密を避けるための取組みを全校態勢で実施している。少人数指導については、大規模の小学校の算数や中学校の数学、英語の授業で、加配教員による少人数指導を行っている。

問 「種田法改正法案」の奄美への影響は

答 農家の事務負担やコスト増加は想定されていない。今後共、関係機関と連携し、農家の営農に支障が出ないように仕組みづくりを図っていく。

【その他の質問】

○コロナ禍における医療機関の運営状況

○救急医療機関への「特別交付税制度」

○「大型第2種運転免許証」取得の環境整備

○国道58号線、横断歩道設置



新生児に対するコロナ対策定額給付金（子育て支援）について



大迫 勝史
(公明党)

問 災害時における避難所の熱中症対策のために避難所や体育館にミストシャワーの設置を検討できないか

問 第2次補正交付金を活用して、基準日の4月27日以降、令和3年4月1日迄に誕生した新生児に10万円の支給決定をする自治体が増えつつあるが本市でも対応できないか

答 実施自治体が徐々に増えつつある事は承知している。未だ新型コロナの収束が見えない中で今後生活支援、とりわけ子育て支援は多くの方が頼りにしていると感じている。財源をどうするか、臨時交付金の有効活用も視野に積極的に調査検討している、暫く時間を頂きたい。

問 本市には詳細な「防災タイムライン」が策定されているか

答 現在は未策定であるが大島支庁、気象庁、本市島内5市町村及び喜界町で協議会を構成し、新川をモデルケースとしたソフト対策の二環としてタイムラインの策定作業を進めているところである。



©KOMEITO

新型コロナウイルスの対応について



奥 輝人
(自由民主党)

問 来島者への対応について

問 奄美空港や名瀬港において来島者全員への抗原検査の実施はできないか

答 「簡易キットによる抗原検査」は、発症2日目から9日以内の症状がある方に有効な検査で、症状が無い方に「簡易キットによる抗原検査」によるスクリーニングを行うことは、有用ではないと国がこれまでの知見を基に示している。

問 やつぎの補植用二芽苗の栽培講習の実施について

答 開催に向け関係機関と連携し進めている。

コロナ対策・保育施設整備・産業振興を問う



永田 清裕
(無所属)

問 新型コロナウイルス感染症対策について

答 ①抗原検査については8月に国において抗原簡易キット検査の大幅拡充の方針が示されており、今後整備が図られると考えている。②水際対策については、空港・港において県主導で民間業務委託を進めている。③避難所の感染予防対策について、感染が疑われる避難者については名瀬保健所へ確実に繋ぐ。保健師を配置した専用の避難所もある。

問 小浜保育施設について

答 築47年が経過、老朽化が進んでいる。具体的な内容や議論を行う場を設定し、建て直し等整備計画を進めている。

問 将来における奄美市の水産業について

答 広範囲において資源回復事業・未利用資源活用事業・後継者育成等の水産就業整備、これらの取り組みを行い、漁業所得向上雇用拡大に努めたい

問 スポーツ振興について

答 かこしま国体については関係団体と2023年開催に向けて協議中。奄美群島日本復帰70周年の記念すべき年になる。決定後は奄美を全国にアピール出来る機会とし、万全の態勢で臨みたい。

【その他の質問事項】

○新型コロナ経済対策

○新型コロナ対策に関する協議会の設置について

○スポーツ合宿による交流人口拡大について



繁殖母牛の食事中



奄美豪雨災害から10年



橋口 耕太郎
(公明党)

問 奄美豪雨災害から10年を迎えるが豪雨の教訓を活かした施策は

答 豪雨を教訓としたハード事業では、防災拠点の強化整備として、3総合支所庁舎建設がある。次に、防災行政無線をアナログからデジタル放送に切り替え防災無線の統合を図った。また、孤立集落対策の一環として、3地区に衛星携帯電話を配備した。加えて、陸上自衛隊奄美警備隊が開設され、より一層災害時に備えた連携が図られた。ソフト面では、自主防災組織率が年々向上していることや、自治会の抱える問題に対する出前講座。奄美市防災訓練の実施で災害時の円滑な避難や連携がスムーズに行えるよう訓練を行っている。

問 奄美豪雨災害から10年のシンポジウムの開催の有無は

答 新型コロナウイルスの終息が未だに見通せないこと。多くの人を集めるイベントであることから、今回開催は見送ることとした。しかし、代わりに素案段階だが、奄美豪雨災害のパネル展、広報誌での防災特集ページの他、各種メディアとも共同した企画を検討している。



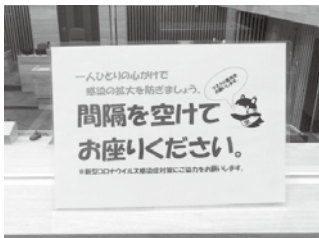
【その他の質問】

○キャッシュレス化の現状について

○世界自然遺産登録について

○地方創生臨時特別交付金について

新型コロナウイルス対策



奄美市議会では新型コロナウイルス対策として、手指の消毒や、議場及び傍聴席のドアの開放などを行っております。また、感染拡大防止の観点より、会議を傍聴する際は、マスクの着用、人と人の距離をとるなどの対策を講じていただき、風邪の症状（発熱や咳など）がある場合はご来場をお控えくださるようお願いしています。なお、本会議（一般質問）については、ライブ配信を行っておりますので是非ご利用ください。



年賀状などのあいさつ状は禁止されています。

（公職選挙法第147条の2）

政治家は、その選挙区内にある者に対して年賀状・寒中見舞状等のあいさつ状を出すことが禁止されています。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



請願書や陳情書が提出できます

市政などに対して意見や要望があるときは、市議会に請願書や陳情書等を提出することができます。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。



第3回定例会 常任委員会 審査概要

9月15日 文教厚生委員会
9月16日 産業建設委員会
9月17日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部をご紹介します。

総務企画委員会

脱炭素型地域モデル検討調査事業

▼1008万円

問 バイオマス資源を活用したビジネス化の具体的検討に向け、大和村、宇検村、龍郷町と共同で調査する事業。

答 具体的な調査内容については

奄美本島におけるバイオマス資源の量、現状を踏まえ、事業規模や施設整備など具体的な事業化に向けた調査を実施する。この調査を踏まえ、民間主体、もしくは官民連携して補助事業導入に向け検討したい。

世界自然遺産メディアジャック事業負担金

▼5000万円

世界自然遺産登録を全国の幅広い層に周知するメディア戦略。

問 具体的な事業内容については

世界自然遺産の登録決定を見据え、短期集中的に広告を行い、インパクトのある形で全国に印象付ける。

奄美大島の魅力普及啓発事業負担金

▼3000万円

大島紬など地域の特産品等を活用したノベルティ（頒布品）制作。

問 具体的な事業内容については

観光客・ビジネス客など航空機利用者へ紬の小物を利用してもらい、魅力を印象付ける。



産業建設委員会

市民向け宿泊体験プログラム利用支援事業

▼2438万8千円

問 当初、2000万円という予算を超過したために追加の補正となったが、利用者数の想定はできなかったのか

答 このような事業は初めての取組であり、想像以上の需要があったため予算をオーバーしたことについては反省すべき点があったと思うが、宿泊業をはじめとする観光業においてそれなりの効果はあったものと認識している。

問 好評につき第二弾も実施されるようだが、詳細については

答 第一弾については市が直接実施することとする。第一弾では受付を申込順としたが、今回は平等性を考慮し、抽選方式にしたいと考えている。補助率については第一弾より低くなるかと考えているが、現在精査中である。



奄美大島雇用創造協議会貸付金

▼600万円

問 この協議会はどういうものか

答 厚生労働省の「地域雇用活性化推進事業」委託事業を3年間実施するもので、奄美大島5市町村と関係団体で組織しており、3年間で83名の雇用を生むことを目標としている。



文教厚生委員会

放課後児童クラブ運営補助金

▼1015万2千円

問 放課後児童クラブ運営補助金の増額要因と現状について

答 名瀬小児童クラブと奄美小タンポポ小児童クラブにおいて、昨年から希望する人数が増えてきたことにより、1つのクラブを2クラスに分けて運営していく。



ナカドゥチェス市中学校奄美訪問受入実行委員会負担金

▼31万円 減

奄美・沖縄こども環境調査隊交流補助金

▼87万円 減

問 奄美・沖縄こども環境調査隊交流事業や、ナカドゥチェス市交流派遣事業のあり方について、今回のコロナ禍においてのネットによるリモートを活用した方法の検討はされたのか

答 リモートによる開催については話題には上がったが、なかなか現実的には難しいというに至った。

令和2年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算

認知症総合支援事業への取組みとして、認知症の方々を見守るためのボランティアの養成講座の開催や地域での支えあいの体制づくりを進めている。先日開催された、結とも講座に、31名が参加し、8名が実際に結ともとして認知症の高齢者の方の話し相手になつていただいている。現在登録者は27名。

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第 73 号	令和元年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 74 号	令和元年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 75 号	令和元年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 76 号	令和元年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 77 号	令和元年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 78 号	令和元年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	継続審査	特別会計

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
陳情 第 4 号	国の責任による「20 人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情	新日本婦人の会奄美支部 支部長 荒田 まゆみ	不採択	文教厚生
陳情 第 5 号	奄美本島 5 市町村長連名・在日米軍機安全飛行に関わる九州防衛局提出要請書の実効性を高めるための奄美市議会要請書提出を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

前議会からの継続審査事件

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
陳情 第 2 号	朝仁海岸・海岸線道路整備に関する陳情の取下げについて	屋村 賢良 他6名	取下 承認	本会議

賛否が分かれた案件

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）※与勝広議員は議長職の為、表決権はありません。

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																					【○賛成数】	【●反対数】	
	正野卓矢	弓削洋平	永田清裕	奥晃郎	荒田幸司	崎田信正	安田壮平	橋口耕太郎	栄ヤスエ	大迫勝史	松山さおり	林山克巳	西公郎	関誠之	奥輝人	川口幸義	伊東隆吉	元野景一	与勝広	竹山耕平	橋口和仁			多田義一
発議第6号 地方自治体のデジタル化の着 実な推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	-	○	○	○	18	2
陳情第4号 国の責任による「20人学級」 を展望した少人数学級の前進 を求める陳情	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	欠席	●	●	●	●	-	●	●	●	4	16
陳情第5号 奄美本島5市町村長連名・在 日米軍機安全飛行に関わる九 州防衛局提出要請書の実効性 を高めるための奄美市議会要 請書提出を求める陳情	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	欠席	●	●	●	●	-	●	●	●	3	17

第3回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について（専決第 15 号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申し立てについて）		
	専決処分の報告について（専決第 16 号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申し立てについて）		
	専決処分の報告について（専決第 17 号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申し立てについて）		
	専決処分の報告について（専決第 18 号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申し立てについて）		
	専決処分の報告について（専決第 19 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて）		
報告第 10 号	専決処分の承認を求めることについて（専決第 14 号 令和 2 年度奄美市一般会計補正予算（第 5 号）について）	承認	本会議
議案第 55 号	令和 2 年度奄美市一般会計補正予算（第 6 号）について	原案可決	全委員会
議案第 56 号	令和 2 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 57 号	令和 2 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 58 号	令和 2 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 59 号	令和 2 年度奄美市水道事業会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	産業建設
議案第 60 号	令和 2 年度奄美市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	産業建設
議案第 61 号	奄美市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 62 号	奄美市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 63 号	奄美市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第 64 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 65 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 66 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第 79 号	令和 2 年度奄美市一般会計補正予算（第 7 号）について	原案可決	本会議
議案第 80 号	監査委員の選任について	同意	本会議
発議第 6 号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
発議第 7 号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決	本会議
議案第 67 号	令和元年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査	一般会計
議案第 68 号	令和元年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 69 号	令和元年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 70 号	令和元年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 71 号	令和元年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計
議案第 72 号	令和元年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	特別会計

議会録画配信 を視聴しませんか？

市民の方々に對し議会の内容を知ってもらうため、定例会の録画配信を YouTube（ユーチューブ）にて行っております。本会議や一般質問の様子が動画にて視聴できますので、是非ご覧ください。

（動画は、定例会の最終日から約3週間後に視聴できます。）

● 奄美市ホームページから視聴する場合

（<http://www.city.amami.lg.jp>）

ホーム＞奄美市議会＞議会録画配信

● YouTube（ユーチューブ）から直接視聴する場合

（<https://www.youtube.com>）

ホーム画面の検索窓にて「奄美市議会」と入力



傍聴者の声

議会を傍聴された方のご意見や感想の一部を紹介します。



70代以上
男性

新型コロナや防災に関する質疑が印象的だった。市民が多数傍聴されるよう、広報してほしい。



50代女性

身近でない議案に関しては、内容や言葉がわかりにくい所もありましたが、傍聴させていただいたことで少し理解できました。市民が過ごしやすい生活ができるよう話し合っ
て下さっていることに有難く感じました。



60代女性

議員さんに、多くの市民との意見交換の場を持ち、身近な私たちの声を気軽に聞いてもらえたら、もっと住み良い地域づくりができるのではないかと思います。



60代女性

むずかしいと考えていた議会ですが、傍聴してみるとわかりやすかったです。議員や市職員の働きについて興味をもって報告や便りを読んでみたいと思います。

議会を 傍聴してみませんか？

傍聴の事前連絡は不要です。
奄美市役所名瀬庁舎8階にお越しください。
傍聴の際は新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いいたします。



親子傍聴席
もあります

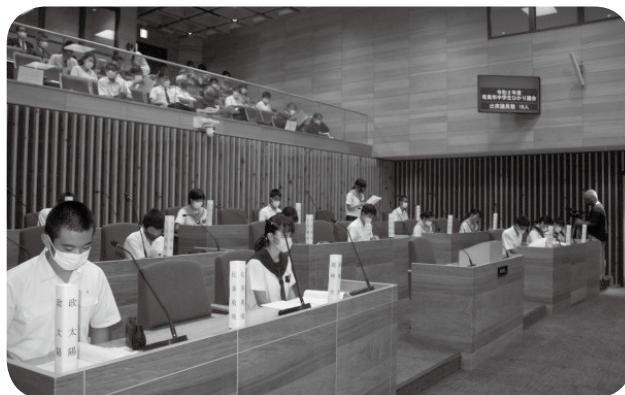
奄美市中学生ひかり議会

令和2年8月19日に奄美市中学生ひかり議会が行われ、市内の中学生が奄美市のさまざまな課題を取り上げ市当局に質問しました。質疑の一部をご紹介します。



問 登下校中の安全のために、奄美市が行っている取組は

答 登下校中の安全確保のため、年度初めに各学校から通学路の危険箇所の情報を集め、危険箇所の把握を行っている。把握した通学路の危険箇所について、奄美市通学路安全推進会議に報告され、特に危険であると判断される通学路を選定し、通学路安全点検を実施している。これまでに、横断歩道等の引き直しや、カーブミラーの設置、除草、路側帯のポールの設置が必要な箇所については、関係機関の協力をいただき、改善を図っている。



問 結の島、奄美の魅力を最大限に引き出すために中学生に望む取組は

答 地域には、生活や季節の節目に行われる伝統文化があり、それは家族や地域の絆を深める最も大事なもので、このことを学び、体験する活動は必ず地域活性化にも繋がる。そのため、積極的に地域行事に参加して、地域の方々との交流の中で伝統文化に触れ、自分たちのシマ・地域、そして奄美を大好きになっていただき、誇りと自信をもって自慢できるようになってもらいたい。

議員研修会



奄美市議会では、毎年議員研修会を行い議員の資質の向上に努めています。

令和2年度第1回議員研修会は、9月24日に市役所7階第一委員会室にて講演会を開催しました。講師には、(一社)あまみ大島観光物産連盟会長有村修一氏、事務局長境田清一郎氏を招き、「奄美大島DMOの取組と課題について」をテーマに講話をいただきました。

九州豪雨義援金贈呈



奄美市議会では、令和2年7月の豪雨による災害の被災地を支援するため、議員に義援金を募り合計11万円の義援金が集まりました。8月13日に奄美市議会を代表して与議長が朝山市長に義援金の目録を渡しました。



議会の動き

【8月】

- 4日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 11日 産業建設委員会所管事務調査
- 13日 会派代表者会
令和2年7月豪雨災害義援金贈呈
- 19日 奄美市中学生ひかり議会
- 21日 全員協議会
- 25日 一般質問通告
- 26日 議会運営委員会

【9月】

- 4日 議会運営委員会
- 7日 第3回定例会開会
全員協議会
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問
- 14日 本会議
全員協議会
- 15日 文教厚生委員会
- 16日 産業建設委員会
- 17日 総務企画委員会
- 24日 議員研修会
議会運営委員会
- 28日 最終本会議
全員協議会

【10月】

- 6日 決算等審査特別委員会
- 7日 決算等審査特別委員会
- 8日 決算等審査特別委員会
- 9日 決算等審査特別委員会

第4回定例会の予定

12 December 2020						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8 開会	9	10 一般質問	11	12
13	14 一般質問	15 本会議	16	17 常任委員会	18	19
20	21	22	23	24 最終 本会議	25	26
27	28	29	30	31	1	2

議会をご覧になりませんか？

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。
議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。

「傍聴」＊

事前連絡は不要です
奄美市役所名瀬庁舎 8階
にお越しください。

「議会中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

＊傍聴の際は新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いいたします。
詳しくは6ページをご覧ください。

編集あとがき

今回の議会だより後書を担当することになりましたので、奄美市議会について紹介したいと思います。現在の奄美市議会は、住民を代表する公選により選ばれた与議長以下22名の議員で構成されています。各地区に区分するのと住用地区1名、名瀬地区18名、笠利地区3名となつています。議会の使命は大きく2つ、その1つは奄美市の具体的政策を最終的に決定する事、2つ目は議会が決定した政策を執行機関・行政が、すべて適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされていくかどうかを質し監視することです。これが、の代表者として議会の構成員に指名され、その事を認識し、私たちの議員の一言一句は、市民であるおさず民の意見であり、住民からの質問や質疑・討議は同時に住民の質疑であり、意見であり、この決意を持って、住民の皆様にこの議会に対し関心を持って頂ければ幸いです。この議会だよりも四半期一回の発行ではなく、毎月発行する内容が確認できるよう詳しく構成していきますので、ご一読の程よろしくお願い申し上げます。（奥晃郎）

市議会だより

編集委員会

- 【委員長】 元野 景一
- 【副委員長】 荒田 幸司
- 【委員】 弓削 洋平
奥 晃郎
橋口 耕太郎
松山 さおり
林山 克巳
関 誠之

